

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成25年8月2日

【四半期会計期間】 第88期 第1四半期
(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

【会社名】 アツギ株式会社

【英訳名】 ATSUGI CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 藤本 義治

【本店の所在の場所】 神奈川県海老名市大谷北1丁目9番1号

【電話番号】 046(235)8104

【事務連絡者氏名】 取締役執行役員経理部長 岡田 武浩

【最寄りの連絡場所】 神奈川県海老名市大谷北1丁目9番1号

【電話番号】 046(235)8104

【事務連絡者氏名】 取締役執行役員経理部長 岡田 武浩

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第87期 第1四半期 連結累計期間	第88期 第1四半期 連結累計期間	第87期
会計期間		自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日	自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
売上高	(百万円)	5,180	5,423	23,100
経常利益	(百万円)	97	224	758
四半期(当期)純利益	(百万円)	66	134	302
四半期包括利益 又は包括利益	(百万円)	626	753	2,350
純資産額	(百万円)	42,641	45,859	45,615
総資産額	(百万円)	51,613	54,528	53,868
1株当たり四半期(当期)純利益金額	(円)	0.39	0.80	1.79
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)			
自己資本比率	(%)	82.4	83.9	84.5

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済・金融政策などにより、円安と株価上昇が進行し、一部では企業業績向上や消費動向の改善など、景気回復の兆しが見られています。しかし、不安定な世界経済などの影響も受け、本格的な安定成長を実感するまでには至っておらず、不透明な状況で推移をしております。

繊維業界においては、消費動向の改善は見られず、円安によるエネルギーや輸入コストの増加に加え、企業間競争の激化などにより依然として厳しい環境にあります。

このような状況において当社グループは、原料加工から最終製品までを一貫生産し販売する専業メーカーとしての特性を活かし、価格を上回る価値ある商品の企画開発と、グループ全社を挙げて効率性アップに取り組み、収益改善に努めております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は5,423百万円（前年同四半期比4.7%増）、営業利益は34百万円（前年同四半期比69.9%減）、経常利益は224百万円（前年同四半期比131.0%増）、四半期純利益は134百万円（前年同四半期比103.8%増）となりました。

セグメント別の業績を示すと、次の通りであります。

[繊維事業]

靴下部門はプレーンストッキングのブランドとして定着してまいりました「ASTIGU（アスティグ）」をはじめとするベーシック商品やセパレート商品などが順調に推移し、ファッション商品の伸び悩みをカバーした結果、同部門の売上高は4,576百万円（前年同四半期比6.0%増）となりました。

インナーウエア部門は主力のブラジャーやショーツが堅調に推移したものの、全般的には厳しく、同部門の売上高は600百万円（前年同四半期比0.3%減）となりました。

これらの結果、繊維事業の売上高は5,176百万円（前年同四半期比5.3%増）、営業損失は70百万円（前年同四半期は15百万円の利益）となりました。

[不動産事業]

不動産事業は長引く不動産不況の影響を受け、依然厳しい状況が続いております。当事業の売上高は145百万円（前年同四半期比4.2%減）、営業利益は108百万円（前年同四半期比7.2%増）となりました。

[その他]

その他の事業につきましては、介護用品の市場環境の変化などにより、厳しい状況が続いております。当事業の売上高は101百万円（前年同四半期比9.1%減）、営業損失は3百万円（前年同四半期は1百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末における総資産は54,528百万円となり、前連結会計年度末に比べ660百万円増加いたしました。これは主に、投資有価証券の増加392百万円等によるものであります。

負債の部は8,669百万円となり、前連結会計年度末に比べ416百万円増加いたしました。これは主に、仕入債務の増加160百万円、繰延税金負債の増加75百万円等によるものであります。

純資産の部は45,859百万円となり、前連結会計年度末に比べ244百万円増加いたしました。これは主に、前期決算に係る配当金506百万円による減少や、その他の包括利益累計額の増加613百万円の増加等によるものであります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は83.9%（前連結会計年度末は84.5%）となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループの事業上および財務上の対処すべき課題に重要な変更および新たに生じた問題はありません。

(4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間の研究開発費の総額は95百万円であります。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	391,039,000
計	391,039,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年8月2日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	188,195,689	188,195,689	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数 1,000株
計	188,195,689	188,195,689		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成25年4月1日～ 平成25年6月30日		188,195,689		31,706		7,927

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できず、記載することができませんので、直前の基準日である平成25年3月31日の株主名簿により記載しております。

【発行済株式】

平成25年6月30日現在			
区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 19,322,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 165,956,000	165,956	
単元未満株式	普通株式 2,917,689		1単元(1,000株)未満の株式
発行済株式総数	188,195,689		
総株主の議決権		165,956	

(注) 1. 「単元未満株式」の欄には、当社所有の自己株式965株が含まれております。

2. 「単元未満株式」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が900株含まれております。

【自己株式等】

平成25年6月30日現在					
所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
アツギ株式会社	神奈川県海老名市 大谷北1丁目9番1号	19,322,000		19,322,000	10.26
計		19,322,000		19,322,000	10.26

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,948	8,004
受取手形及び売掛金	3,874	3,334
商品及び製品	3,821	4,116
仕掛品	2,201	2,564
原材料及び貯蔵品	694	702
繰延税金資産	90	5
その他	634	736
貸倒引当金	18	15
流動資産合計	19,246	19,448
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,026	6,017
機械装置及び運搬具（純額）	3,396	3,433
工具、器具及び備品（純額）	112	115
土地	16,456	16,456
建設仮勘定	169	142
有形固定資産合計	26,162	26,165
無形固定資産	443	444
投資その他の資産		
投資有価証券	7,258	7,650
繰延税金資産	0	0
その他	757	820
貸倒引当金	0	0
投資その他の資産合計	8,016	8,471
固定資産合計	34,621	35,080
資産合計	53,868	54,528

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,610	2,771
未払法人税等	87	98
賞与引当金	128	42
その他	1,213	1,482
流動負債合計	4,040	4,394
固定負債		
繰延税金負債	304	380
再評価に係る繰延税金負債	2,152	2,152
退職給付引当金	1,245	1,244
その他	509	498
固定負債合計	4,212	4,275
負債合計	8,253	8,669
純資産の部		
株主資本		
資本金	31,706	31,706
資本剰余金	9,397	9,397
利益剰余金	5,524	5,152
自己株式	1,884	1,886
株主資本合計	44,744	44,369
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,083	1,300
繰延ヘッジ損益	146	269
土地再評価差額金	751	751
為替換算調整勘定	278	551
その他の包括利益累計額合計	757	1,370
少数株主持分	114	119
純資産合計	45,615	45,859
負債純資産合計	53,868	54,528

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	5,180	5,423
売上原価	3,238	3,597
売上総利益	1,942	1,825
販売費及び一般管理費	1,827	1,791
営業利益	114	34
営業外収益		
受取利息及び配当金	89	88
持分法による投資利益	2	6
為替差益	-	105
その他	54	22
営業外収益合計	146	222
営業外費用		
租税公課	12	10
為替差損	129	-
その他	22	22
営業外費用合計	164	32
経常利益	97	224
特別利益		
投資有価証券売却益	14	-
特別利益合計	14	-
特別損失		
固定資産除却損	-	5
投資有価証券評価損	11	-
投資有価証券売却損	0	-
特別損失合計	12	5
税金等調整前四半期純利益	99	218
法人税、住民税及び事業税	26	72
法人税等調整額	7	12
法人税等合計	33	85
少数株主損益調整前四半期純利益	66	133
少数株主損失()	0	1
四半期純利益	66	134

【四半期連結包括利益計算書】
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	66	133
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	458	217
繰延ヘッジ損益	42	122
為替換算調整勘定	180	260
持分法適用会社に対する持分相当額	11	19
その他の包括利益合計	692	619
四半期包括利益	626	753
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	621	748
少数株主に係る四半期包括利益	4	5

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

該当事項はありません。

(会計方針の変更等)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
減価償却費	249百万円	265百万円
のれんの償却額	8 "	8 "

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日）

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	518	3	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日）

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	506	3	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	繊維事業	不動産事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	4,917	151	5,069	111	5,180		5,180
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0		0		0	0	
計	4,917	151	5,069	111	5,181	0	5,180
セグメント利益又は損失()	15	101	116	1	114		114

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、介護用品の仕入および販売であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	繊維事業	不動産事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	5,176	145	5,322	101	5,423		5,423
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0		0		0	0	
計	5,177	145	5,322	101	5,423	0	5,423
セグメント利益又は損失()	70	108	38	3	34		34

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、介護用品の仕入および販売であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 6 月30日)
1 株当たり四半期純利益金額	0円39銭	0円80銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額 (百万円)	66	134
普通株主に帰属しない金額 (百万円)		
普通株式に係る四半期純利益金額 (百万円)	66	134
普通株式の期中平均株式数 (千株)	170,821	168,861

(注) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年8月2日

アツギ株式会社
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	佐藤明典
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	吉田英志
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	寶野裕昭

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているアツギ株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、アツギ株式会社及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。